

実践事例9 中学校第1学年 【地理的分野 世界の諸地域】 「ヨーロッパ州」 —EUの発展と地域間格差—

単元について

- 本単元は、地域的統合が進むヨーロッパ州を取り上げ、人々の移動や産業の結び付きなどを追究することで、EUを構成する国の相互関係や域内の地域間格差など、地域的特色を理解させることをねらいとしている。地理的事象の背景や要因を環境条件や他地域との結び付きと人間の営みとの関わりに着目して追究することは、地理的な見方や考え方の基礎を培う上で意義があると考えられる。
- 生徒は、社会科の学習に意欲的に取り組んでいる。「授業に集中して取り組んでいるか」の質問に対して、生徒の約9割が「そう思う」「ややそう思う」と答え、「社会科の学習は楽しいか」の質問に対して、生徒の約7割が「そう思う」「ややそう思う」と答えている。しかし、社会的な問題について、学習した内容を基に討論し意思決定したり、その理由を説明したりすることに難しさを感じている。
- 学習問題Ⅰ「ヨーロッパでは、なぜ、どのような地域統合が進んだのか調べよう」について追究し、ヨーロッパの産業、人々の生活がどのように変化したのかを考えさせる。これにより、地域統合のよい影響(以下、メリット)について気付かせ、ヨーロッパ州の地域的特色についての理解を促す。次に、統合を進めるヨーロッパが抱える課題として、「国際競争力を大きくすること」と「地域間の格差をなくしていくこと」の両立が難しいことに気付かせ、地域間の格差の問題点(以下、デメリット)を明確にしていく。その際、学習問題Ⅱ「これからのEUは、国際競争力の強化と地域間の格差をなくすこととのどちらをより重視すべきか」を設定し、生徒に意思決定を迫ることで生徒の思考を揺さぶりたい。最後に、生徒の支持する考えを基に討論型の学習を行わせることにより、これまでの学習で得た知識を活用させることで、知識の定着を図りながら、地理的な見方や考え方の基礎を培うようにしたい。

単元の目標

- (1) ヨーロッパ州における地域統合と地域間格差について追究する学習問題を基に、ヨーロッパ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとさせる。
- (2) ヨーロッパ州における地域統合と地域間格差について追究する学習問題を基に、多面的・多角的に考察させ、その過程や結果を適切に表現させる。
- (3) ヨーロッパ州の地域的特色に関する様々な資料を収集させ、有用な情報を適切に選択させ、読み取ったり図表などにまとめたりさせる。
- (4) ヨーロッパ州における地域統合と地域間格差について追究する学習問題を基に、ヨーロッパ州の地域的特色を理解させ、その知識を身に付けさせる。

単元の評価規準単元の指導計画(全8時間)

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
○ヨーロッパ州における地域統合と地域間格差について追究する学習問題を基に、ヨーロッパ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	○ヨーロッパ州における、地域統合と地域間格差について追究する学習問題を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○ヨーロッパ州の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	○ヨーロッパ州における地域統合と地域間格差について追究する学習問題を基に、ヨーロッパ州の地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。

過程	主な学習活動	教師の指導・支援	時配
学習問題をつかむ	○教科書や地図帳などの資料を見て、ヨーロッパ州の自然、歴史、文化、産業等の視点からヨーロッパ州について概観する。	○ヨーロッパの自然を、地図や写真などから読み取らせる。 ○様々な資料を提示し、多様な民族とヨーロッパ文化の共通性に着目させる。	1
	○ヨーロッパ州の地域的特色を追究する課題を設定する。	○共通通貨ユーロの導入を基に、EU加盟国間の結び付きに気付かせる。 ○EU加盟国における地域統合の様子について調べさせることで、学習問題Ⅰへ導く。	1
	ヨーロッパでは、なぜ、どのような地域統合が進んだのか調べよう。《学習問題Ⅰ》		
調べる	○EU発足の目的と加盟国間でできることについて調べる。	○EU発足の4つの目的を基に、その背景や加盟国間でできることについて調べさせ、目的と関連付けながら理解させる。	1
	○EUの工業生産について調べ、国境を越えて協力することで国際競争力を付けたことをまとめる。	○協力して生産を行うEUの工業について読み取らせ、工業の発展の様子についてまとめるさせる。	1
	○ヨーロッパ各地の農業について調べ、その特色をまとめる。	○ヨーロッパの農業について資料から読み取らせ、安定した食料の生産と供給が行われるようになったことを理解させる。	1
考え・まとめる	○東ヨーロッパの酪農家やポーランドの出稼ぎ労働者の資料から、地域間格差があることやその背景を知る。 ○EUのメリットとデメリットを表にまとめ、話し合うべき問題を見出し、学習問題Ⅱとして設定する。また、これを論題として、意思決定1を行う。	○EUの農業、工業に与える負の影響に触れることで、生徒のEUに対する肯定的な考えを揺さぶり、関心を高めさせる。 ○EUの現状として「国際競争力」と「地域間格差」の対立に気付かせ、生徒の思考を揺さぶり、学習問題Ⅱへ導く。	1 本時 (6/8)
	論題 これからのEUは、国際競争力の強化と地域間の格差をなくすこととのどちらをより重視すべきか。《学習問題Ⅱ》		
	○論題について、自分の考えを基に、EUの現状を調査する。	○EU加盟国の労働条件や労働環境を比較させたり、EUの国際的地位に関する資料を提示したりして、生徒の思考を促す。	1
	○これからのEUについて討論し、根拠を基に最終的な意思決定2を行う。	○TPPやFTPAなどを例に、EUの相反する側面は、将来の日本にも起こりうる可能性があることを説明しすることで切実感をもたせ、意思決定を促す。	1

中学校第1学年 「ヨーロッパ」 –EUの発展と地域間格差–(本時の様子)

本時の目標

これからのEUについて、「国際競争力の強化」と「地域間格差の縮小」の相反する側面を比較し、自分なりの考えを表現することができる。

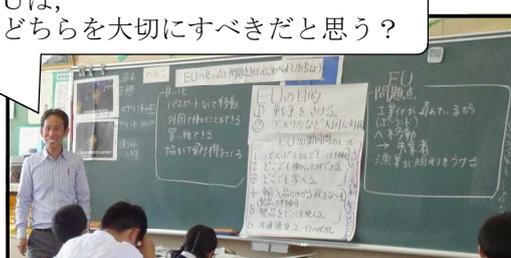
本時の展開の概要(6/8)

ヨーロッパでは、EUによる地域統合が進み、地域の安定と国際競争力という目的に向かって発展してきたことを確認させた。ポーランドの若年人口の流出やドイツの失業者の増加から、EUの抱える課題に気付かせた。地域統合を進めるために、自由を重視すれば格差が広がり、地域間格差を解消するために、制限を増やせば協力体制や地域全体の発展が停滞するという対立点を明確にした。「自由」と「制限」のどちらに重きを置くか生徒に問い、意思決定を迫った(意思決定1)。

本時に取り上げる社会的な問題【社会的な問題のパターン】

社会的な問題「EU加盟国では、地域間の格差が生じていること」【解決すべき事柄】

本時の様子

	主な学習活動	教師の指導・支援
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○EUの基準によって苦しめられる東ヨーロッパの酪農家について知る。 ○学習のめあてを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○EUの農業、工業に与える負の影響に触れることで生徒のEUに対する肯定的な考えを揺さぶった。 ○EUのよい面だけではなく、問題点があることから、EUの在り方を考えることを意味付け、めあてを導いた。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて EUのよい面と問題点を比べて、これからのEUについて考えよう。</div>	
学習問題Ⅰのまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○EU加盟国間で労働者の平均賃金に格差があること、EU域内で移動が自由であることから高い賃金を求めて労働者の移動が活発であることを調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ドイツとポーランドの月平均賃金のグラフや既習のEUの規約を基に、加盟国間で生じた問題点や課題を整理した。これにより、EUの問題点「地域間格差が生じていること」を明らかにしていった。 ○生徒には、地域間の格差はなくしていくべきだという考えが生じることが予想されたため、考えが偏らないようにEUの目的や歴史的背景から、EUのよい点と比較させ、生徒の葛藤を促していった。
社会的な問題を把握する	<ul style="list-style-type: none"> ○EUのよい点と問題点を比較し、EUの相反する側面について考え、学習問題Ⅱを設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 社会的な問題(解決すべき事柄) 「EU加盟国では、地域間の格差が生じていること」 </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> EUのよい点 国際競争力の強化 ・アメリカや日本と対等に渡り合えばEU全体の生活が豊かになる。 《自由》 </div> <div style="font-size: 2em;">⇄</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> EUの問題点 地域間の格差は正 ・EU加盟国内には、生活に困っている人々が出てきている。 《制限》 </div> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○EUのよい点と問題点を比較させる際、現状ではどちらも求めることは難しいことに気付かせた。これにより、EUの相反する側面(自由と制限)について、「どちらを大切にすべきか」と問い掛け、生徒の判断の違いから学習問題Ⅱへと導いた。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content;"> これからのEUは、自由と制限、どちらを大切にすべきだと思う？ </div> 

論題 これからのEUは、国際競争力の強化と地域間の格差をなくすこととのどちらをより重視すべきか。《学習問題Ⅱ》

○学習問題Ⅱについての自分の考えを、ワークシートに記述する。

(意思決定1)



生徒の意思決定の様子

○次時の学習について確認する。

○理由を付けて記述させる。また、今後調べる必要のある事柄についても考えさせ、討論学習につなげた。

【評価】

討論までに調べておきたいことがある人？



○討論に向けて準備をすることを伝え、次時以降の学習への見通しをもたせた。

実践を終えて

【成果】

- EUの抱える課題に気付かせ、「自由を重視すれば格差が広がり、制限を増やせば発展が停滞する」という対立点を明確にすることができたため、対立する立場に触れながら自分の理由付けを行っていたり、対立する立場の問題点に対する解決策を示したりするなど、考えが深まった状態にある生徒の記述が増えました。

【課題】

- 現実の社会を考えると、社会的な問題は多様な側面をもち、それに関わる人々の考えも数多く複雑になっています。よりの確に社会的な問題を捉えさせるには、様々な視点から詳しく分析する必要がありますが、生徒の実態に合わせれば、情報量を精選し、整理しながら学習を進める必要もあると考えられます。